

国際的人材育成のための多言語・多文化理解ワークショップの展開

国際教育交流センターアドバイザー部門

柴 垣 史

留学生を主な対象とした多言語・多文化理解、生活適応支援ワークショップを、学内外との連携を図りながら継続展開した。これまで同様、留学生にとっては日本の生活に慣れ、他の学生や地域の人たちと共に学べる機会となるよう、また、すべての学生にとって多文化コミュニケーション力や発信力、多文化適応力といった国際性を伸ばすことを目指した。

【日本文化講座】

2010年度から国際教育交流センターが教養教育院の授業として開講している基礎セミナー「日本文化の国際展開」と、ワークショップの日本文化講座の一部を合同しておこなっている。また、昨年度同様、華道、着物講座を日本文化体験ワークショップとして、海外協定校からの夏期短期研修プログラム生も参加できるよう調整し、留学経験者である日本人学部学生1名を講座の準備、言語補助（通訳）として起用した。

また、2013年度からは過去より複数回継続して開講している講座内容をまとめ、多文化の視点から捉えた教材として冊子化しており、今年度は華道講座について英訳・冊子印刷が完了、着物講座について和文原稿の校閲が終了した。講座では実践から学ぶことに重点を置き、冊子は実践の復習、興味や理解の深化を助け、

学んだことを展開し発信するための参考資料としての役割も担った。また通訳や講座の準備時間を短縮させることにも大いに役立った。

大学周辺で教室を持つ各講座講師が、地域での文化イベントに留学生を招待し、大学の外での文化体験、参加する地域の人々との交流の機会を提供したり、日本文化の発信に興味を持つ学生ら有志が、書道について学び、ミニセッションを開催するなど、各講座からの発展もみられた。

【世界の言語・文化講座】

名古屋大学イスラム文化会との共催により、外部講師を招き、イスラム文化と日本文化を比較しながら学ぶための講演および多国籍料理紹介をおこなった。この企画運営には多国籍学生たちが主体的に関わり、多文化調整力を養う機会ともなった。

間違いを恐れずに外国語を練習するプログラム「ランゲージシャワー」は、その実施内容や運営について検討したが、学生主体のプログラムとして運営するには時間と人材が足りないこと、また意見、協力を仰いだ学生組織が独自で運営する言語練習活動の状況が良好であることもあり、今年度は本事業における活動はおこなわなかった。

ワークショップの実施状況（トピック、講師、場所、日時、参加人数）

【日本文化講座】

- ★華道（指導：華道八代流教授 岡田佳恵） 国際棟2階201講義室 14：45-16：15
5/17, 6/21, 7/7（ケンブリッジ大生含む20名参加）、7/19, 11/15, 12/20, 1/17（各10-13名参加）
- ★書道（指導：藤井書道教室 藤井尚美） 国際棟2階 CALE フォーラム
6/9 16：30-18：00（基礎セミナーと合同29名参加）
大学院生、大学スタッフによる書道勉強会・ミニセッション 国際棟2階201講義室
7/12, 7/26 14：45-16：15（各4名参加）
- ★着物（指導：駒きものクリエイト） 国際棟2階201講義室
7/14 16：30-18：00（基礎セミナーとの合同、ケンブリッジ大生含む20名参加）

【世界の言語・文化】

- ★イスラーム文化と日本文化を学ぶ会 工学部 IB 電子情報館1階015講義室
11/25 17：30-20：00（学内外88名参加）
「イスラームに見る幸せの法則」（講演：NPO 法人千葉イスラーム文化センター 杉本恭一郎）
多国籍料理紹介：名古屋大学イスラーム文化会

いけばな
— 型に習い、自在を得る —

IKEBANA
— From set styles to your originality —

執筆：華道八代流 岡田佳子
編集：名古屋大学 国際機構 国際教育交流センター アドバイジング部門
Author: OKADA Keiko, Kado Hachidai ryu
Editor: Advising & Counseling Services,
International Education & Exchange Center, Nagoya University

名古屋大学 国際教育交流センターアドバイジング部門

名古屋大学イスラーム文化会

国際交流イベント「イスラーム文化と日本文化を学ぶ会」

イスラームに見る
幸せの法則

講師：杉本恭一郎 氏

イスラーム研究協会国際ジャーナル理事、NPO 法人千葉イスラーム文化センター副理事長、神戸大学大学院国際総合研究科修士課程修了、マレーシア国駐イスラーム大学大学院教育研究科修士、専門はイスラーム教育、Dr. ザキル・ナイク氏に師事する。著書（翻訳）に『Dr. ザキル・ナイクが語るイスラームの秘宝』（国際刊行会、2015年）がある。主な講演歴（最近9ヶ月）として、東京インドネシア共創大校長主催「クルアーンとは何か」講演（東京）、イスラミックワールドフォーラムアメリカ主催「日本におけるイスラームとムスリム」講演（ニューヨーク）、東京大学イスラーム文化研究会主催「ラマダーンとクルアーン」講演（東京）、大阪大学インドネシアムスリムコミュニティ主催「イスラーム文化と日本文化の関係性」講演（大阪）、日本ムスリム学生協会主催「イスラームと仏教の関係性」講演（静岡）、埼玉大学ムスリム文化研究会主催「イスラームをめぐる誤解」講演（埼玉）、インドネシア国立パジャラン大学主催「ハラル・イン・バージョン」国際会議「日本のハラル市場に関する現状分析」講演（パジャラン）、その他、東京教大、千代田大、埼玉大、徳島大、大分大、香川の各マスコミ・公開場で講演多数。取材歴に、2016年9月26日付読売新聞（千葉地域）「ムスリムと地域交流の進め方」がある。

日程 2016年11月25日（金）

場所 名古屋大学工学部 IB 電子情報館1階015講義室

プログラム詳細
17:30-18:30 講演
18:30-19:00 質疑応答
19:00-20:00 多国籍料理紹介

使用言語 日本語および英語

申込先 URL（先着80名）
<https://goo.gl/E1v8t>

問合せ先 名古屋大学国際教育交流センターアドバイジング部門 電話052-769-6117
E-mail: adv@coe.nagoya-u.ac.jp